

E-mail  E-mail:honbu@otedama.jp
●お問い合わせなどメールをご利用ください

URL  <http://www.otedama.jp>
●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部
〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL  **TEL : 0897-32-0302**
FAX  **FAX : 0897-32-0311**

0才児から2才児の子育てママに読んでもらいたい 発達障害に警告！

テレビ・ビデオは2才児まで見せないで

赤ちゃんがママの顔を見なくなった。
ことばの遅れや立ち歩きなどの遅れが
増えていると小児科医の先生が
警告を鳴らす。

その「理由」はテレビやビデオに
子守りをさせることが
脳の発育に影響をおよぼすと
調査研究の結果、
徐々に明らかになっている。



赤ちゃんの時の子育てが一生を決めます 音と映像のない環境で子育てをして下さい

小児科医・片岡直樹先生の 子どもの育て方

川崎医科大学教授で小児科医の片岡直樹先生は、「赤ちゃんの時の子育てが一生を決めます。テレビ・ビデオは2歳までは見せないで!!」といっておられます。

ここに、片岡先生の著書「発達障害を予防する子どもの育て方」から、その一部を抜粋してご紹介します。

「テレビ・ビデオ・CD・BGM・電子おもちゃなどを家庭から追放してください。しかし、取り除くだけではダメです。赤ちゃんの意思表示、愛着、活動性、意欲などに気づくことが大切です。

さらに、保護者(主に母親)の『心づかい』が必要です。とはいえ、かわりすぎはよくありません。それとなく配慮したいものです。『はやくいい子に育ってほしい』とか、『はやく言葉をしゃべってほしい』と思ったら、だいたいうまくいきません。愛情をもって見守り、困ったときに手をさしのべ、静かにその空間を共有しているくらいがいいのです。

何ごとも『いい加減』が大事です。いっぱい手や口を出すのはだいたい失敗します。愛着が育つことと、指示して教え込むことは相反することです。赤ちゃんが他者と心を通わせる時期に、まず大人がやるべきことは赤ちゃんの言葉をオウム返しで応えることです。模倣(まね)するのが大切な時期に、単なる「記憶」の蓄積である形、色、パズル、記号、文字、数字を覚えさせると、子どもは心を通わせることをあきらめます。

テレビのない時代にも自閉症の報告は確かにありました。普通環境でない実体験の乏しい環境が用意されていたのかもしれない。当時は自閉症の発症は5000人に1人だったのです。テクノロジー文化の発展した現代では100倍に増えました。赤ちゃんが育つ王道は、応答的環境と愛着が必要不可欠なのです。」